

株主の皆様へ

埼玉県比企郡嵐山町大字大蔵 388 番地
 太陽ホールディングス株式会社
 代表取締役社長 齋藤 齊

インターネット配信の視聴サイトにおけるご質問への回答に関するお知らせ

当社第 80 回定時株主総会のインターネット配信の視聴サイトにて株主の皆様より事前及び当日受け付けておりましたご質問につきまして、改めて下記のとおり回答しますのでお知らせいたします。

記

番号	ご質問	回答
1	上場維持ではなく、非公開化を選択したのはなぜでしょうか。	非公開化により、安定した株主構成を確保したうえで、中長期的視点に基づく経営戦略遂行や迅速な意思決定が可能な経営体制が実現できることから、当社の成長戦略遂行に資すると考えました。さらに、世界有数の PE ファンドであるKKRをパートナーとして、半導体及び医薬分野で有するグローバルなネットワークや知見を活用し、各事業の成長と構造改革を加速できると考えております。これにより、当社単独では成し得ない企業価値向上策を推進し、コア技術への長期投資を通じて中長期的な企業価値の一層の向上を図ることができると考えております。このような背景から、非公開化に向けた当社株式に対する公開買付け開始予定について開示しております。
2	公開買付けに関して、応募中立とした理由について説明してください。	公開買付価格は、株式価値算定の結果から見て、当社株式の本源的価値が一定程度反映されており、一般株主の皆様にとって必ずしも不利益な水準ではないと考えております。一方で、2026 年 3 月 31 日時点の株価水準も踏まえた結果、当社としては、本公開買付けへの応募への推奨の是非については中立の立場をとり、応募するか否かの最終判断は株主の皆様に委ねることが適切と判断いたしました。なお、公開買付けが実際に開始される時点で、改めて正式な意見表明を行う予定です。
3	公開買付価格は過去の太陽 HD 株価水準の上昇や半導体関連株の相場環境を踏まえても割安と考えますが、1 株あたり 4,750 円と設定した根拠を説明してください。	公開買付価格につきましては、KKR との協議を経て提示された金額ですが、独立したアドバイザーによる市場株価法、類似会社比較法、及び DCF 法等の算定結果を踏まえるとともに、入札プロセスを通じたマーケット・チェックを実施した上で、本取引に係る複数の買収提案の比較検討結果等も総合的に勘案し、当社株式の本源的価値が一定程度反映されていると合理的に評価可能であり、一般株主の皆様にとって必ずしも不利益な水準ではないと考えています。 一方で、本件が公表された 2026 年 3 月 31 日時点におきましては、当社株価の水準等も考慮し、当社としては、本公開買付けへの応募の推奨の是非については中立の立場をとり、応募するか否かの最終判断は株主の皆様に委ねることが相当と判断しました。
4	公開買付価格を上回る水準となっている直近の当社市場株価に関して、適正株価をどのように認識していますか。	当社市場株価に関するコメントは差し控えさせていただきます。

番号	ご質問	回答
5	公開買付けの開始予定に関する賛同を取り消す、または公開買付公開買付価格を引き上げる考えはありませんか。	現時点において、2026 年 3 月 31 日時点の公表内容から取締役会の意見の変更があった事実はございません。 なお、当社は 2026 年 3 月 31 日開催の取締役会において、本公開買付けが開始される際に、本特別委員会に対して、2026 年 3 月 31 日付答申書の意見に変更がないか否かを検討し、従前の意見に変更がない場合にはその旨、変更がある場合には変更後の意見を当社取締役会に対し述べるよう諮問すること、及びかかる本特別委員会の意見を踏まえ、本公開買付けが開始される時点で、改めて本公開買付けに関する意見表明を行うことを併せて決議しております。
6	無配の決定は、株主の権利を害することにはなりませんか。	KKRによれば、公開買付価格である 4,750 円は 2026 年 3 月末以降を基準日とする配当が支払われないことを前提とし、今後の配当金相当額を織り込んだ価格であるとのこと。当社といたしましても、2026 年 3 月期の期末配当を無配とする前提において、本件の公開買付価格を基に意思決定を行っており、このような前提条件を公開買付価格に付すことは、市場慣行に照らしても一般的な手法であると認識しております。
7	公開買付けが不成立となる可能性はありますか。	公開買付者は、本公開買付けにおいて当社株式の全てを取得し非公開化することを目的としており、本公開買付けにより当社株式の全てを取得できない場合に本株式併合に必要な株主総会の決議を確実に成立させるため、買付予定数の下限を設定しています。そのため、本公開買付けに応募された株券等の数の合計が買付予定数の下限に満たない場合には、応募株券等の全部の買付け等を行わない（公開買付けは不成立となる）とのこと。です。
8	万が一、公開買付けが不成立となった場合、現在の配当方針に変更はありますか。	現時点で何ら決定している事実はございません。公開買付けが不成立または撤回されるような事態となった場合、改めてそのタイミングで然るべき検討を実施する想定です。
9	憶測報道に関して、太陽 HD として情報漏洩対策を徹底しているとのことですが、本取引に関わる他社の関係者の秘密保持義務違反があったのではないですか。	現時点において、当社としてそのような事象を認知しておりません。
10	憶測報道に対して、直後に太陽 HD として IR 説明をしなかったのはなぜでしょうか。	当社における重要事実の決定に際しては、法令並びに東京証券取引所の定める適時開示制度等に基づく開示の必要性の有無、公表の時期及び方法等について検討後、取締役会における決議を経て速やかに開示することとしています。また、各憶測報道に関しては、当社として適時開示の要否を検討した結果、直後の IR 説明は実施しておりません。
11	KKR をパートナーとして半導体・医療分野のグローバルネットワークや知見を活用して成長加速を目指す中で、今後も医療事業を継続する予定ですか。	KKR より、事業ポートフォリオの見直しについて現時点で決まった方針は特段ないものの、長期経営構想「Beyond Imagination」の実現に向け、様々な限界・境界を越えていくという意味をこめた当社単独では実現できない「Beyond Boundaries」という企業価値向上策を通じ、より高い集中力と安定性のもと、コア技術への長期投資を図っていく方針と聞いております。 医療・医薬品事業については、現時点で、本公開買付けによる影響を特段想定しておりません。 今後、営業・受注体制の強化や委託元の多様化を通じてレジリエントな事業構造への変革を目指すことに加えて、KKR の知見も活用しながら資本収益性を向上させ、更なる成長ドライバーに変革することを目指します。

番号	ご質問	回答
12	中長期的な企業価値向上に向けてどのような施策を考えていますか。	長期経営構想「Beyond Imagination 2030」や中期経営計画の方向性を継続しつつ、KKR との連携によりそのネットワークと知見を活用することで、エレクトロニクス事業においては、エレクトロニクス業界を取り巻く構造的な市場変化を捉えた積極的な投資を実行するとともに、医療・医薬品事業においては、長期的視点に基づく構造改革を推進し、医薬品事業の収益性確保と製造受託事業の事業拡大を図っていきます。
13	当社が上場維持してきた意義は何だったのでしょうか。	太陽 HD として上場維持してきた意義については、社会的信用力及びブランド価値の確保・向上や、それに伴う従業員採用及び人材確保、株式を活用した役職員向けインセンティブにおける柔軟性の確保等が挙げられます。
14	非上場化することによるデメリットとして何を想定したのでしょうか。	当社及び特別委員会は、本取引により当社株式の上場廃止及び株主構成の変更に伴うディスシナジーの有無について独自に検討いたしました。 上場会社としての社会的信用力・ブランド価値や株式を活用した役職員向けインセンティブ施策、主要取引先や採用への影響は一定程度想定されとの議論は存在したものの、KKRの投資実績・支援方針及び本取引後の経営体制維持方針等を踏まえれば、いずれも本取引後の体制の下で対応可能な範囲にとどまると考えております。 したがって、当該ディスシナジーは当社の将来キャッシュ・フローに重大な悪影響が生じるほどのものではなく、本取引による当社の企業価値向上効果を否定するものではないと判断しました。
15	非上場化する場合でも、今後も人的資本に対する取組みは継続していくのでしょうか。	当社の掲げている太陽バリューや自律型人材の育成と活用の基本方針に変わりはありません。企業価値が向上する施策に対しては今後 KKR と当社で協議を重ね、これまで通り、従業員 1 人 1 人が活躍できるような人事施策の検討を続けていきます。

・ご質問は、本公開にあたりご理解いただきやすいよう、実際にいただいた内容とは一部表現を変えて記載している場合がございます。

以上